

ぷらケア

家族の絆をつなぐコミュニケーションサービス

「現場」の声で生まれた心のケアサービス



入居者のご家族

「見えない」不安が誤解を招く原因に!!

入居者のご家族は必ずしも頻りに連絡や訪問するご家族とは限りません。様子が見えないと不安が不信に変わり、老いによる体力低下や怪我の責任に巡る訴訟に発展するなど、入居者ご家族トラブルのリスクが高まっています。



離

れていても「家族の絆」を感じる安心

インターネット上のアルバムを通じて近況報告
入居者の心にハリ、ご家族の心に安心感

インターネットを通じてご家族・入居者が互いの写真・メッセージにより近況を伝え合うことができます。入居者にとって家族との繋がりは心にハリをもたらし、ご家族には施設に対する安心感・信頼感を持っていただくことができます。



ご家族から入居者宛に写真とメッセージが届きます



銀行ATMみたいに指で操作
片手で施設内を持ち運びOK

専用ソフト「ぷらケア」が入っている
タブレット型パソコンで撮影して送信

日常の様子をスタッフが撮影、ご家族に届けます

指

一本の「タッチ操作」で操作する安心

写真撮影や送信、ご家族の写真を見るのも指一本
銀行ATMのように指先だけでカンタン操作

日々のケア仕事でも無理なく利用いただけるよう、ぷらケアは指先でタッチするシンプル操作。しかも片手で持てる軽さですので持ち運びもラクラク。写真撮影も、ご家族から届いた写真を入居者の方に見せるのも、難しくありません。



「家族の絆ケア」で施設への不安は信頼に変わる

家族と離れグループホームに入居されてもご家族の顔を見ると元気になる入居者の方、家族と疎遠になってしまう方、いろいろな家族を見てきました。そして怪我や老衰をめぐるトラブルも珍しくなくなってきました。入居者もご家族も、そして施設も安心でき信頼しあえる関係は日々のコミュニケーションの積み重ねではないか？ そんな現場の気づきからサービスを企画いたしました。

お問合せ先 NPO法人 地域と共に暮らす会 松田祐樹
電話 090-7903-7248 メール songtian88@gmail.com

サービス概要

- ソフト1台につき1ユニット（10名）まで利用可能
- カメラ撮影投稿（カメラ機能で撮影・メッセージ入力）
- 家族写真・メッセージ閲覧（家族が登録した写真を閲覧）
- スタッフ緊急召集機能（スタッフ宛に召集メール送信）
- ご家族向け：写真・メッセージ投稿受付サービス
- ご家族向け：入居者写真・メッセージ閲覧サービス

サービスを導入された施設運営者様には入居者やご家族、スタッフ情報を管理する管理画面が提供されます



県内に暮らす息子夫婦



お婆ちゃん

遠方に暮らす子ども達



グループホーム入居者

離れて暮らす家族と
写真で「近況報告」

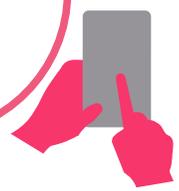


入居者の方が怪我・急病

指でタッチするだけ
「緊急招集メール」



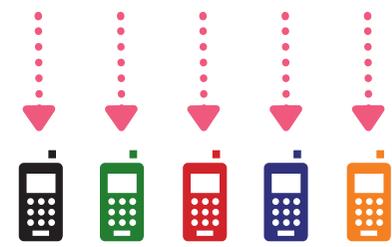
- 新潟花子
- 長岡次郎
- 三条幸子
- 湯沢大輔
- 村上友子



呼び出す人の名前をタッチ



緊急招集メール



選択されたスタッフの携帯電話にメールが送信されます